



研究所長  
小野 栄一

# ごあいさつ

国立障害者リハビリテーションセンター研究所は、障害のある方々の人生の質(QOL;Quality of Life)向上のため、様々な研究を進めています。当研究所は厚生労働省唯一の「施設等機関と一体化した研究機関」に分類されている

国立の研究機関であり、障害分野のリハビリテーション技術の研究機関として設置されました。当センターは、設立当初から研究所の他に、病院(医療)、自立支援局(自立訓練・就労移行支援など障害福祉サービス)、学院(教育)を有しており、障害者の医療から職業訓練まで同一施設内で一貫して実施する日本のリハビリテーションの中核施設(面積は東京ドームの約4.8倍)として1979年に設置されました。

国立障害者リハビリテーションセンターには障害のある方々が人生を楽しみ、笑顔を獲得されるためならば、努力を惜しまない様々な職種の人々がいます。必要は発明の母、と言われるかもしれませんが、それなら父は誰でしょうか？ 私は熱意ある人との連携と思います。

研究所が、障害のある方々の自立や支援に向かって、現場に即した夢のある研究と開発(成果の普及と活用・人材育成など)を益々促進する場となるようご支援いただけますと幸いです。

## 沿革

1979年 国立身体障害センター補装具研究所と

国立東京視力障害センター研究室とを統合して設立  
補装具制作部、調査研究室(第1/第2ユニット)発足

1984年 運動機能系障害研究部、

感覚機能系障害研究部、福祉機器開発部が発足

1985年 障害工学研究部設置

1986年 障害福祉研究部設置

1998年 感覚機能系障害研究部に感覚認知障害研究室を設置

2008年 名称を「国立障害者リハビリテーションセンター」に改称

2010年 脳機能系障害研究部 発達障害研究室、高次脳機能障害研究室、  
脳神経科学研究室を設置、補装具制作部を義肢装具研究部に改める

2012年 運動機能系障害研究部に分子病態研究室設置

2013年 福祉機器開発部に福祉機器臨床評価研究室設置

2019年 障害工学部に自立支援ロボット技術等研究室設置

2021年 障害福祉研究部にデータ利活用障害福祉研究室設置